

ねれかて

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てつなぐ子

豊田市立平井小学校

校長だより

令和5年 6月23日

ハートフル週間(教育相談)を行いました

5月22日（月）～26日（金）の5時間目の時間にハートフル週間（教育相談）を行いました。教育相談は、子どもたちの悩みや問題を把握して解決に導くことにより、よりよい学級生活が過ごせるようにすることをねらいとしています。今後は、養護教諭、スクールカウンセラー、心の相談員の方々と十分に連携を図りながら相談の結果を職員で共有し、子どもたちの健やかな成長に役立てたいと考えています。教育相談を経て「心が軽くなりました」「理解してもらえたことが嬉しい」と話す子どもたちの姿も見られました。迷っていることや悩んでいることを話すことによって、自分は大切にされているという安心感が生じ、自己肯定感につながります。また、自己理解が進むことによって、自分を抑制したり主体的に行動したりできるようになります。お忙しい中であると思いますが、保護者に皆様には、今後もお子さんと学校での生活について話をする機会を大切にしていただきますようお願いします。



学習に取り組む子どもたち

3年生の音楽の授業では、「きごうを覚えよう」の学習内容で、春の小川を題材に表現活動に取り組みました。子どもたちは、隣の子と4つのリズムを組み合わせながら手と体で表現しました。休符記号を意識して隣の子とリズムを合わせて、手遊びを楽しみながら授業に参加をしていました。繰り返し練習をする中で四分音符と四分休符を理解し、打つ時と休む時を意識して打とうとする力が身にきました。



2年生の算数の授業では、ICT機器（学習用タブレット）やデジタル教科書を用いて「紙のものさしをつかってながさをはかろう」の授業を行いました。プロジェクターから大きく映し出された画面を見ながら「cm」という単位の書き方を先生と一緒に確認しながら授業を進めていました。1年生では、直接あるいは間接的に大きさを比べる活動を通して量についての学習をしています。2年生では、長さの普遍単位(cm、mm)を用いて単位の意味を理解することによって、単位による測定が正しくできるようになります。今後も効果的なICT機器の活用に努めます。

